

2022年 2月 9日

脳神経内科の外来・入院診療あるいは剖検を受けられた患者さん・ご遺族の方へ

「神経変性疾患における生理活性物質の作用機序の解明と創薬への応用」への協力をお願い

脳神経内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2000年1月1日～2020年10月6日に当科において、神経変性疾患の患者さんで、血液・髄液検査などを受けられた方、病理解剖を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2026年8月31日

研究目的・方法：

本研究の目的は、難病である神経変性疾患の患者さんの血液・髄液・毛髪、細胞培養上清液、病理検体材料から、金属、トランスポーター、生理活性物質、タンパク質、遺伝子発現プロファイルなどを解析することです。病態の解明、さらに新たな治療薬の開発に役立てるものです。

研究に用いる試料・情報の種類：血液、髄液、毛髪、細胞培養上清液、剖検材料

外部への試料・情報の提供：提供を受けた試料・情報は、匿名化され、個人名がわからない状態で、研究責任者の下で保管され、共同研究者へ輸送されます。

研究組織（各組織代表者）

岐阜薬科大学 薬物治療学 教授 保住 功

岐阜大学医学部附属病院脳神経内科 教授 下畑享良

新潟大学脳研究所病理 教授 柿田明美

愛知医科大学加齢医科学研究所神経病理 教授 吉田眞理

信州大学医学部神経難病学（さいがた医療センター病理） 特任教授 山田光則

国立病院機構 医王病院 特命副院長 石田千穂

徳島大学医歯薬学研究部 教授 山本 朗仁

山梨県富士山科学研究所 研究管理幹 長谷川達也

京都大学生命科学研究科 准教授 神戸大朋

慶應義塾大学理工学部化学科 教授 古川良明

東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 鈴木道生

筑波大学医学医療系環境生物学分野 教授 熊谷嘉人

准教授 新開泰弘

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科

電話番号 058-230-6255 (脳神経内科医局)

058-230-8121 (岐阜薬科大学薬物治療学)

氏名：保住 功

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科

岐阜薬科大学特命教授

氏名：保住 功

研究代表者

岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科

岐阜薬科大学特命教授

氏名：保住 功